

第27回 経営協議会議事要録

日時 平成21年3月19日(木) 14時50分～16時30分
場所 事務局第二会議室
出席者 宮田亮平学長、堀江振一郎理事、玉井賢二理事、
六角鬼丈美術学部長、植田克己音楽学部長、
石田義雄委員、海老澤 敏委員、中村胤夫委員、
根本二郎委員、
末永壽男会計課長
監事：竹内雄也監事
欠席者 佐々木正峰委員、高階秀爾委員、中島尚正監事

議題

1．平成21年度国立大学法人東京芸術大学年度計画(案)について

議長から標記のことについて提案があり、総務課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

2．平成21年度収入・支出予算(案)について

議長から標記のことについて提案があり、会計課長から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

(主な意見)

・国立大学法人は目的積立金(剰余金)が多いため注目されているので、目的積立金は計画的に予算執行していくことが望ましい。

3．第2期中期目標・中期計画素案(仮案)について

議長から標記のことについて提案があり、堀江理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

4．東京芸術大学職員の勤務時間、休暇等に関する規則等の一部を改正する規則(案)の制定について(人事院勧告対応)

議長から標記のことについて提案があり、堀江理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

2．その他

(主な意見)

・国立・私立大学の委員会に出席していると、外国語の堪能な教授の雇用、学生の海外留学、優秀な留学生の受入等議論されることが多く、本学も将来のリーダー養成を目指して中・長期的な目標として考えてみてはどうか。

・少子高齢化する日本社会の質を維持するために、大学は何をすべきかを考える必要がある。例えば、幼少時からの美育や高齢者の生活の質向上(QOL)に大学がかかわり、学

生を動員する方法など考えられるのではないか。

報告及び連絡事項

1．東京芸術大学次期学長候補者について

標記のことについて、総務課長から、3月19日開催の平成20年度学長選考会議において、現学長の宮田亮平氏を次期学長候補者として選考した旨の報告があった。

(任期：平成22年4月1日～平成28年3月31日 6年間)

2．その他

堀江理事から、第1期中期計画の中間評価が大学評価・学位授与機構から届いた旨の報告があった。

渡邊理事から、机上配付資料のとおり、本学と理化学研究所との共同研究について報告があった。

堀江理事から、平成21年度入学試験志願者数について報告があった。

議長から、3月末で交替する委員等について、下記のとおり報告があった。

- ・田淵俊夫理事(研究担当) 教授職定年による辞任
- ・堀江振一郎理事(総務担当) 和歌山工業高等専門学校長へ転任
- ・六角鬼丈美術学部長 定年による退任
- ・増村紀一郎大学美術館長 定年による退任
- ・金 昌国演奏芸術センター長 センター長任期満了による交代

机上配布の芸大クッキー、藝大通信、国大協広報誌「JANU」について、各担当者から報告があった。